

# 工業倶楽部 会報

## KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

# 7

発行／(社)鹿児島県工業倶楽部 企画・編集／広報・デザイン開発委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内  
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp E-mail info@ikic.or.jp

2007/No.37

## 平成19年度通常総会 5月28日ベイサイドガーデン「桜島」15:00～16:20

19年度通常総会は、鹿児島大学吉田学長、講演会講師にJSTイノベーションサテライト宮崎黒澤館長、懇親会に伊藤鹿児島県知事をはじめ、賛助会員の方々等にもご出席を賜り、滞りなく終えることができた。

ソニーセミコンダクタ九州(株)鹿児島テクノロジセンター石黒総務部統括部長が務める議長のもと、議案として出された①18年度事業報告及び一般会計収支決算、②19年度事業計画(案)及び一般会計収支予算(案)、③理事補充などについて説明後、原案どおり承認された。以下、主なもの。

◎18年度は、鹿児島大学との連携協力協定に基づく組織的な産学連携がスタートした。

また、5回目の“鹿児島ものづくりフェスタ”と同時開催として、NEDO、九州経済産業局の支援等により、“九州福祉用具フォーラムin鹿児島”を開催した。

3月に実施した静岡県との交流の中で、特に静岡県立大学とは、機能的食品開発をはじめ、今後の鹿児島大学等との連携が期待されるものとなった。

さらに、地域のポテンシャルを活かした“九州バイオクラスター”計画を国が策定することとなり、生薬・醗酵・醸造などについて検討が進められて、鹿児島では得意分野の“機能的食品”などの開発・研究が期待されている。

### ・18年度のグループごとの活動で、特徴的なもの

- ①屋久島登山研究会の微生物処理による屋久島登山道トイレ1箇所のモデル事業実施
- ②南薩地区プラザの砂丘特区農場におけるらっきょう栽培、新商品開発の研究
- ③川薩地区プラザのエタノール等、“竹”の有効成分を活かした事業取組み可能性の研究
- ④食品関係会員による有機・無農薬・自然栽培食品の栽培や加工・開発、これに関連する機械・装置、さらにマーケティング等まで含めた食関連推進組織の検討。

◎19年度は、これまでの諸活動をさらに進めつつ、国、大学、高専、県、工業技術センター、かごしま産業支援センター等との連携を強化し、会員企業の事業活動拡充を促進するとともに、次に掲げる主要事業を積極的に推進することとする。

### ・主要事業

#### (1) 全体運営の効率化

ア 理事会は年6回を4回程度に、正副会長会は年12回を6回程度とする。  
イ 鹿大の3専門委員会へ積極的に参加し、具体的取組みへの活動を強化する。

#### (2) 委員会、部会、研究会、プラザ、地区プラザの活性化⇒「出前交流会」の実施

#### (3) 鹿児島ものづくりフェスタの休止及び今後のあり方検討

19年度は休止し、類似イベントを実施している他県の状況を把握するとともに、20年度からのフェスタのあり方について論議を深めることとする。

#### (4) 「工業倶楽部夏季大会」の実施

“夏季大会”は、会員の資質向上、魅力ある工業倶楽部づくり、不活発な会員の倶楽部組織への参加意識醸成などのために、19年度に復活させることとする。

#### (5) 国、県、大学、公設試験研究機関、関係機関・団体等との産学官連携の推進

#### (6) 工業倶楽部のイメージアップのための広報活動の充実

組織、活動等の情報発信、工業倶楽部ホームページの改善をさらに進める。

#### (7) 会員企業への迅速、的確な情報の提供

会報、KICニュースなどの機関紙、ホームページ、メール等の電子媒体などを通して、迅速、的確な情報の提供に努める。

### ◎理事の補充

欠員の理事補充議案も承認され、新たな役員体制は表のとおり。



## (社)鹿児島県工業倶楽部新役員名簿

会 長	川崎暢義	副 会 長	岩重昌勝、満石公一、久永修平、濱田雄一郎、上田亨
理 事	有村佳子、松崎正年、岩元正孝、桑野正敬、尾上和幸、高橋美博、小城年久、坂元昭夫、米元正巳、石黒聡、横山勝一、平尾純一、谷口功二、本村嘉啓、片野坂正勝、本坊慶吉、梅田正和、林隆秀、森重匡世、東郷哲郎、益留福一、野元幸淳、森田俊彦、黒田清忠		
監 事	小田正弘、藤崎茂実		

## CONTENTS

平成19年度通常総会	1	スパドゥ・これからの取り組み・DESIGN HOT NEWS	4,5
光に見るイノベーションと産学連携について	2	視察見学・活動状況	6,7
顔の見えるネットワークから課題解決のネットワークへ	3	新規会員情報・広告	8

## 「光に見るイノベーションと 産学連携について」

独立行政法人科学技術振興機構  
JSTイノベーションサテライト宮崎  
館長 黒澤 宏



### ◎光の研究

40歳になってレーザーの研究に誘われて、20年弱その研究をして参りました。

平成14年に宮崎大学の地域共同研究センター長になり、産学連携の大学の拠点だということで、大学の営業部長として各地を飛び回りました。

平成17年9月30日に大学教員を辞めて、現職のJSTイノベーションサテライト宮崎の館長になりました。

これまで特に真空紫外希ガスエキシマ光源の研究をして参りました。

10何年前に、液晶ディスプレイを作るとき、ガラスの上に付けた部品が剥がれて歩留まりが悪かったが、紫外光を当てることにより、濡れ性がよくなり、剥がれなくなることが分かった。この技術は韓国企業やウシオ電機でも活用され、特に、液晶メーカーに売っています。

太陽の光は白い光である。白い光の発明は社会に広く普及して人々の生活を変えただけでなく、新しい産業をつくり出した。

JIS規格では「日の出から3時間経過後から日の入り3時間前までの間に北側から差し込む光を白い光と定義する」となっている。

ボルト電池で人間が始めて電気というものを手に入れることができました。電球は、炭素フィラメント→タングステンを使用、タングステンの蒸発を防ぐためにガスやハロゲンを入れることによって大分白くなってきました。

1900年になりますと原子の構造と光の関係がわかってきて、原子の光を使うことによってできたのが蛍光灯です。

その後、コントロールがし易い自ら光るものを作ろうと、半導体と光の吸収・発光・誘導放出に眼が向けられた。LEDもこれが原理になります。

1985年に名古屋大の赤崎・天野氏が基板結晶にAINバッファ層をつけてGaN単結晶をつくる。1990年に日亜化学の中村氏がGaNバッファ層でGaN薄膜作成に成功。世界は青色+緑色+LEDで白色光源を作る方向だったが、日亜化学は1つのLEDで白色LEDを実現した。

### ◎産学連携のあり方

産学連携のあり方についてはWin-Winの関係が必要だと思います。

1. 企業のWinとは商品が高く売れること
2. 大学のWinとは知名度・評判UPによる学生の確保と運営費の確保。
3. 研究者のWinとは①評判（名誉）②思いが叶う（研究資金）③収入増

研究員は研究費がほしいのに大学は運営費がほしい。ここでバランスが悪い。

産業界の方は大学は1組織としてみるが、実は敷地が1つであって組織は違う。大学の組織というのは学生、教員、事務

員が夫々独立していて横のつながりが無い所である。

大学の先生は、興味で研究をしています。外部からの「これをやれ」とか「これをやってほしい」なんてことには耳を貸しません。これで良いとは誰も思っていないが、大学の先生を動かすには、「興味を持たせること」が重要です。つばにはまれば、寝食を忘れて研究に没頭します。

先生を知って、大学をもっとうまく利用してください。地域の活性化のために。

次にJST独立行政法人科学技術振興機構の使命は

- ① 技術シーズの創出を目指した、基礎研究から企業化開発までの一貫した研究開発の推進
- ② 科学技術情報の流通促進など科学技術の振興基盤の整備
  - ①及び②を総合的に行い、我が国の科学技術の振興を図ることです。

日本の大学の研究者への科学研究費補助金を学術振興会が毎年2000億（GDPの0.04%）を出している。

一方 政策誘導型研究も重要だということで、産業を活性化しようと新技術の企業化（技術移転）の予算が250億位がJSTにきていて、大学の先生の研究成果を企業化するというところはかなり予算を注ぎ込んでいます。

我々の仕事は企業のサポートは難しいのですが、良い種（研究成果）を見つけて、それを植えて、肥料をやり、水をやり、育て、実がなるのを企業の方はじっと見守って、これはと思ったら取ってくればよいのです。取ってきて自分の所で売ったら良いのです。

JSTは九州の中で福岡と宮崎に拠点があり、JST宮崎は宮崎・鹿児島で活動しています。その地域の産業を活性化することをメインに。

研究費は福岡、宮崎同じ額です。毎年2億5000万位の研究費を持ってあります。それを宮崎・鹿児島で分けているわけです。良い産業を育てたいと思っています。今有利な状況にあります。

JSTイノベーションサテライト宮崎は「地域の新産業の創出をめざして」地域産学官の知的ポテンシャルの向上や大学・公的研究機関等の研究成果を社会還元するため活動しています。科学技術で南九州を豊かに！

産学共同研究の芽が見えたら、JSTサテライト宮崎に声をかけてください。





## 顔の見えるネットワークから 課題解決のネットワークへ

株式会社 瀬上ミクロ  
代表取締役社長 上田 享



今年度の工業倶楽部総会で副会長に選出され、産学行政連携を担当させて頂くことになりました。これを機会に、地場企業のビジネスの視点で産学行政連携の意義について少しふれてみたいと思います。

お客様／市場に対して“自分たちの見方、考え方、取り組み、そして誇れるものづくりについて情報発信する”ことが非常に大切だと社内で繰り返し言っています。もちろん私自身絶えずお客様／市場との対話を意識的に創り出したいと思っていますし、この対話の中からビジネスの課題（困っている事、欲しいもの）が見え、それを解決することで会社は注文を頂けるという構造にあります。しかし、昨今お客様の困っている事、欲しい製品が複雑化／高度化し、自社だけの要素技術／管理技術だけでは解決できなくなってきたのが現状です。もちろん、お客様／市場の課題に対して解決を示せないということは自らビジネスの土俵を下りにすることに繋がります。長年掛けて築き上げたビジネスの土俵を失いたくないですし、要求される要素技術／管理技術／製品開発に因應べくネットワークを利用し、または、新たにつくり課題解決に取り組んでいます。そのネットワークにも質的にステップがあるように思われます。

九州経済産業局が主導する産業クラスター組織、九州半導体イノベーション協議会で現在も活動させてもらっています。その活動を通していろいろな方たちと知り合う機会を得ました。その中で、まずは互いの会社の内容／技術／課題とかを気安く話せる“顔の見えるネットワーク”に参加できたことで仕事にも大いに役立ちました。なかなか自社の抱える課題を他の人にオープンにするというのは簡単ではないです。しかし、大学、高専／他の企業の持っている強み／特長を生かし課題解決に協力してもらうことで早い解決が可能になりリスクも軽減できビジネスチャンスが広がります。このように課題解決のためのネットワークへ質的に変わってくると、協議会のメンバーと一緒に共同研究／開発をしたり仕事をやり取りする機会も増えてきました。

また、セミコンジャパンへの出展、技術フォーラムで研究発表の機会を設けてもらったりすると担当する社員の意欲も違ってきます。振り返ると、ある活動の中でネットワークが作られると“いろいろな見方、考え方、取り組み、情報発信”が生まれ活動している人達が互いに刺激し合い人が育成されネットワークも進化し結果として活性化に繋がってくるように思われます。

工業倶楽部の産学行政連携の活動の中でもまず“顔の見えるネットワークづくり”を基本に位置づけ、会員企業、大学、高専、行政が共に地域の活性化についての課題を出し合い、議論し、見える化し、それぞれの取り組みに繋がられる活動にしたいと考えます。

# スパドゥ・これからの取り組み

(鹿児島県工業倶楽部発オンリーワン観光産業)

株式会社指宿ロイヤルホテル  
代表取締役会長 有村 佳子



平成14年は、私にとって大きな転機となる年であった。

この年、指宿ロイヤルホテルは健康的な鹿児島独特の食材を探す中で、坂元黒酢と出あった。そして、坂元社長から鹿児島県工業倶楽部に入会しませんかとお誘いを頂いた。

しかし、工業倶楽部はものづくり産業の倶楽部で、私のような宿泊業は1件も加盟していない。お断りを申し上げると、坂元社長様は『今年の9月から新しい研究会を立ち上げます。鹿児島県独特の食材・豊富に有る温泉・必要な運動を取り入れた健康増進産業の研究会です』これは観光にとっても必要な研究ではありませんか、とお誘いに大変興奮した。

観光産業に携る中で、長年模索していた懸案を工業倶楽部が研究課題として取り組む話に、是非入会させて下さい、とお願した。工業倶楽部は会長が坂元様から川崎様へと移行したが、研究会は鹿児島大学医学部・鹿屋体育大学・県栄養士会・県医師会・県保健福祉部の協力と40数社の工業倶楽部会員の参加を得て、平成16年7月指宿ロイヤルホテルに於いて、4泊5日のモニタリングを行い、食・温泉・運動融合化による積極行動が健康体をより良い状況に改善できるという結果を得た。

折りしも小泉内閣が観光産業を活性化して、日本経済を向上させると言う《ビジットジャパン》構想を打ち出した。全国いっせいに観光立県へとなびく中で、食・温泉は不可欠の要素となった。しかし、構想はあってもどのように取り組むかは暗中模索の中で、鹿児島県工業倶楽部が専門家集団(トータルヘルスアドバイザー)の指導と助言で具体的な結果を出した事は、快挙としてマスコミ報道された。

国土交通省から私は、将来的な観光産業になるとして《観光カリスマ》にまた平成19年度経済産業省の《地域中小企業サポーター》を委嘱されている。

スパドゥ構想が新しい産業として地域に根を下ろすには、指宿温泉で取り組む必要がある。指宿には国際観光ホテル整備法登録ホテル旅館9件有り、平成6年にホテル旅館オーナー会が発足し、毎月定例的に会議を持っている。そのオーナー会で地域として健康増進に取り組む事が決定した。《スパドゥ》は私どもが商標登録していたので、地域としては《スパヘルス》の名前で事業化に取り組み、JTBとの商品を作る作業が始まっている。JTB協定旅館ホテル連盟では、『健康保養温泉地づくり』支援事業が進められている。全国の観光地の中で趣旨に沿った事業実施計画が承認されると、支援金が支給され地域としての事業化と商品化が行われる。今までの旅行形態は、ほとんどが1泊で帰る宿泊パターンであるが、これを2泊・3泊しながら健康保養を目的とする旅行の創出である。指宿温泉や鹿児島の食材を楽しみ、砂むし温泉に入り、ウォーキングやトレッキングで身体をリフレッシュするという商品である。団塊の世代がリタイアする昨今、元気で加齢を提案する旅行が求められている。JTB旅ホ連からは、全国十数箇所が選定され指宿温泉も選ばれたので、9件のオーナーと若手担当者による事業計画が進んでいる。

また、来年2008年度のNHK大河ドラマが『篤姫』と決まり、鹿児島指宿が舞台となる。この好機に将来的観光を事業化する機会が与えられた事は、誠に有り難いと感じている。

さらに、指宿市内にある年金事業団が運営していて経営破綻した『グリーンピア指宿』の跡地利用で、(株)新日本科学が世界的な予防医学・治療医学の研究施設『メディポリス指宿』

を今年6月5日に、一部開業させた。2011年には重粒子放射線による癌治療が始まる。おりしも2011年は新幹線全線開業の年であり、指宿温泉には単なる観光だけでなく、健康増進や癌治療の滞在を目的とした人々が訪れるだろう。

メディポリス指宿の存在は観光と健康をドッキングさせた新しい産業を創出する。まさにオンリーワンの観光が鹿児島県工業倶楽部の発想から生まれるのである。

## 日本発！意匠権担保に1000万円融資

株式会社フォーエム  
代表取締役 森重 匡世

日本政策投資銀行は、2006年12月にデザインベンチャー アッシュコンセプト会社に対して、同社が保有する2002年に発売になった「アニマルラバーバンド(輪ゴム)」12件に意匠権を担保に1000万円を融資した。

知的財産権を担保にした融資の中で、意匠権だけを担保に実施したケースは日本でも初めてである。発売以来世界で1000万個売り上げている。政府系金融機関としての同銀行は土地やビルなどの有形資産ではなく、知的財産権などの無形資産を担保にする融資を進めてきた。これまでも、商標権や特許、著作権を担保にした融資を行ってきたが、意匠権のみを担保にした融資はこれが初めてで、国内でもおそらく初めての事例となった。これを前例として、同銀行ほかの金融機関、メーカーやデザイン事務所が持つ、意匠権を担保に融資する事例が増える可能性は高く、これに伴って意匠権そのものを売買、あるいは価値評価する動きが活発化しそうだ。ただ、簡単には融資が受けられるわけではない。アッシュコンセプトの経営状況とヒット商品の売上げ実績や、今後の計画を評価しての融資という色彩も濃い。発売前の製品の意匠権を評価して融資したわけではない。

すでに、事業化に成功したメーカーやデザイナーは融資をうけるチャンスを得るが、将来ヒット商品の種としての意匠権を持つ新興メーカーや、実績のないデザイナーが自らの意匠権を担保に融資を受けることは難しい。

いずれにせよ、知的財産権である意匠権を担保に融資されたことは、将来に向けて期待が持てる。ガンバレ！鹿児島発デザイン。

NIKKEI DESIGN2007・3より抜粋



設置工事から整備・メンテナンスまで、ボイラーに関する全てのニーズにお応えします。

**IHI** 貫流ボイラーは、ワンランク上の燃焼制御(4位置制御:蒸発量0.75t/h以上、比例制御:蒸発量3t/h以上)の導入により、ランニングコストの大幅な低減を実現し、良質な蒸気をご提供します。

## IHI 貫流ボイラーラインアップ



0.1~0.5t/h



0.75~2.0t/h



2.5t/h



3.0~6.0t/h

管・鋼構造物・機械器具設置工事 鹿児島県知事許可般-3155号

**NKK** 南日汽缶工業株式会社  
IHI ボイラー南九州総代理店

本社・工場 / 〒892-0836 鹿児島市錦江町11番53号

TEL (099) 226-1266

URL <http://www.n-k-k.jp>

FAX (099) 226-1256

E-mail [info@n-k-k.jp](mailto:info@n-k-k.jp)

# 視察見学

## 「鹿児島県水産技術開発センター」& 「メディポリス指宿」

‘07/6/19(火)指宿

前日まで、雷や大雨の典型的な“梅雨”でしたが、この日は久しぶりに穏やかな天気にも恵まれました。視察参加者は、当初、25名程度の見込みでしたが、人気沸騰で倍以上に！

当倶楽部会員を中心に、鹿児島県庁、同工業技術センター、かごしま産業支援センター、SE研究会、さらに会員外の企業の方々も含めて、64名がバス2台などで指宿に集合。

◎「鹿児島県水産技術開発センター」は、指宿市今和泉漁港先端部に平成16年4月オープンした研究施設で、種苗開発、加工技術開発、漁場環境調査、魚病対策など幅広く取り組んでいます。

当日は、センター概要、高付加価値新製品開発・加工のための産学官連携、公募型研究開発資金への挑戦などの説明、太平洋でのビンナガマグロ魚群調査を終えて帰港したばかりの調査船「くろしお」や種苗開発育成現場などを見学しました。

食品生産・加工・機械・デザイン・印刷など、あらゆる業種の企業集合体である工業倶楽部と県水技センター、大学等は、今後、一層の“産学官連携”が可能と思われます。水技センターの皆様方、大変お世話になり、有難うございました。

◎「メディポリス指宿」は、医薬品開発の受託研究、創薬試験等で世界を相手にビジネス急拡大中のマザーズ上場企業(株)新日本科学＝鹿児島市吉田町：永田良一社長＝が、破綻した保養施設“グリーンピア指宿”を購入後、最先端医療を核とした「メディポリス指宿構想」を策定し、同事業の実施に向けて着実に取り組んでおられます。東京ドーム77個分の103万坪の自然に恵まれた敷地内に、既に宿泊施設、こころのケアセンター、予防医学センター、付属病院をオープンさせています。

今後は、壮大な構想に基づく世界最先端の“ガンの粒子治療”を目指しています。

なお、付属病院は西洋医学で原因が分からない症状などに対しても、人それぞれに応じて自然治癒力を高め、増強することを診療の基本としています。

自然とともに、運動、温泉も楽しめる超一流の丘の上の絶景のホテルで、心身ともにリフレッシュしてみたいものです。

視察当日は、永田社長の純真でしかも次元の違う壮大な一直線人生のお話しや原田院長の“人を見つめて個々に統合医療を”という真摯な姿勢など、心に響く圧倒的な感動の時間を過ごさせていただきました。有難うございました。

◎なお、ホテルの“天珠の館”は、日帰り利用(10:00～15:00)の温泉、セラミックスバ、岩盤浴、光のヒーリングアートなどが楽しめます。有料。問合せ先は、次のとおりです。

### ・メディポリス指宿“天珠の館”

〒891-0304鹿児島県指宿市東方5000番地  
TEL:0993-23-5552 FAX:0993-23-5571



# 活 動 状 況

## 各委員会

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務企画委員会	4月24日	①19年度事業計画・予算案について ②19年度年間計画について ③その他(食品関係新グループの創設についてほか)	県産業会館 中2階会議室
異業種交流委員会	4月18日	①19年度事業計画について ②その他	県産業会館 中2階会議室
広報・デザイン開発委員会	4月13日	①19年度事業計画について ②その他	県産業会館 中2階会議室
	5月24日	①次回工業倶楽部会報について ②その他	県産業会館 中2階会議室
	6月18日	①6月発行の工業倶楽部会報について ②その他	県産業会館 中2階会議室

## 各部会

委員会名	月 日	内 容	場 所
情報ネットワーク部会	5月9日	①工業倶楽部ホームページへの検索エンジン適正化(SEO)の適用研究・設定変更後のアクセス数変化状況に関する確認と協議 ②平成19年度情報ネットワーク部会活動計画に関する意見交換・活動テーマと実施計画に関する協議	ソフトプラザ かごしま 1F会議室
福祉部会	4月11日	①平成19年度福祉部会活動事業計画 ②各会員からの情報提供および意見交換	県産業会館 中2階会議室
	6月19日	「県水産技術開発センター」及び「メディアポリス指宿」視察見学会 設立に向けた打合せ会	指宿市
食産業部会(仮称)	5月22日	①会の名称について ②代表及び副代表の選任について ③今後の運営について ア 会運営の基本的方向及び具体的方策について イ 会への加入、呼びかけ範囲等について ウ 今後のスケジュールについて エ 次回の開催日について	市町村 自治会館4階 会議室
	6月28日	演題「竹粉・電解水農法について」 講師 柳本 幸一 氏 九州キャタピラー三菱建機販売(株) 本社営業部 環境機械課チーフアドバイザー	市町村 自治会館5階 会議室

## これからの活動予定

- 平成19年7月18日(水)「本坊喜一郎・坂元昭夫両氏の叙勲祝賀会」  
18時30分～ ステーションホテルニュー鹿児島  
84プラザ\*7月例会も同じ。
- 平成19年7月21日(土)「県工業技術センター・ラボツアー」  
13時30分～16時 県工技センター  
今回は化学・環境部及び電子部 業務紹介、研究室訪問。
- 平成19年7月26日(木)「食産業部会(仮称)の竹粉・電解水農業現地視察」  
14時～16時 霧島市溝辺町有川「永田農園」  
大きくて旨い、ミネラル等豊富な野菜、果物。
- 平成19年8月1日(水)「福岡ものづくり産業振興会議」  
15時～19時 ホテルセントラーザ博多  
人材育成や生産カイゼン等に関するシンポジウム

## プラザ

委員会名	月 日	内 容	場 所
八日会	6月12日	①新会員「ドリーきかく(有)」の業務紹介と商品のPR ②会員の近況報告	ホテルタイセイ アネックス
84プラザ	5月24日	①平成19年度制度資金等説明会 講師 堀之内 健郎 氏 (財)かごしま産業支援センター 経営支援室長 ②会員の近況報告 ③工業倶楽部事務局からの連絡事項	味の八坂
さつまプラザ	4月11日	さつまプラザ・プラザさくらじま合同例会 ①平成19年度活動計画について	焚火処「盛蔵」
	5月22日	さつまプラザ・プラザさくらじま合同例会 ①演題「鹿児島島の食材を使った、マダム・ポーの食卓」 講師 渡辺 千佳子 氏 (有)マダム・ポー 代表取締役	自治会館 「がんこ庵」
	6月28日	さつまプラザ・プラザさくらじま合同例会 情報交換会	自治会館 「がんこ庵」
プラザさくらじま	4月11日	さつまプラザ・プラザさくらじま合同例会 ①平成19年度活動計画について	焚火処「盛蔵」
	5月22日	さつまプラザ・プラザさくらじま合同例会 ①演題「鹿児島島の食材を使った、マダム・ポーの食卓」 講師 渡辺 千佳子 氏 (有)マダム・ポー 代表取締役	自治会館 「がんこ庵」
	6月28日	さつまプラザ・プラザさくらじま合同例会 情報交換会	自治会館 「がんこ庵」
プラザいもづる	4月3日	①会員の近況報告など	甲突橋集合
	5月18日	①会員の近況報告など	もつ鍋 「ほかけふね」
	6月23日	①黒須工場見学会 ②情報交換会	福山養殖作業場 (霧島市)

## 地区プラザ

委員会名	月 日	内 容	場 所
南薩地区プラザ	4月21日	①らっきょうの管理作業	南薩プラザ 実験農場
	5月19日	南薩地区プラザ新年度総会	吉祥
川薩地区プラザ	4月16日	①竹の活用	味の三筋
	6月13日	①竹の活用	味の三筋
出水地区プラザ	6月21日	演題「支店窓口から見た管内の金融動向」 講師 園田 尚宏 氏 国民生活金融公庫 川内支店長	鶴の町商工会 (旧野田町 商工会館)

## 新規会員情報



- 個人会員 鈴木 昌也
- 住所 〒890-0075  
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
- TEL 099-275-5444
- FAX 099-275-2628
- 業種等 鹿児島大学小児外科

現在、鹿児島大学臨床予防医学で阿邊山和浩准教授の指導の下、大学院生として研究を行っています。若輩者ではありますが、よろしく願っています。



- 個人会員 鳥飼 源史
- 住所 〒890-0075  
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
- TEL 099-275-5444
- FAX 099-275-2628
- 業種等 鹿児島大学小児外科

鹿児島大学病院小児外科在籍中の医師です。現在は病棟を離れ、臨床予防医療講座におきまして新生児消化管穿孔の予防法についての研究を行っております。今回は准教授の阿邊山先生のご紹介により、思いがけずこの工業倶楽部に参加させていただくこととなりました。異端派ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。



- 個人会員 (有)ハマシステムビジョン
- 代表者 森田 博
- 住所 〒897-0003  
鹿児島県南さつま市加世田川畑5732-5
- TEL 0993-53-8235
- FAX 0993-53-3007
- 業種等 自動制御機器及びシステム品の企画・開発・販売

平成4年、地元鹿児島に赴任し、様々な業種の企業様に、色々な制御機器及び自動化のテーマを頂き、活動してまいりました。弊社は、前職からの引き継ぎにて、平成16年に設立し、携帯会社の中で、営業活動を行ってきました。工業倶楽部の入会を機に、会員の皆様方との交流を深め、自動化へのチャレンジをモットーに付加価値のあるものづくりへの挑戦として共に進みたいと考えております。

今後とも、ご指導にご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。

### 会員募集中 年度初めに当たり、会員増強を！ お気軽に事務局へお問合せください！

区分	従業員割	会費	区分	従業員割	会費
1	個人会員	10,000円	6	100人未満	130,000円
2	1~5人	30,000円	7	300人未満	155,000円
3	6~10人	55,000円	8	500人未満	180,000円
4	30人未満	80,000円	9	1000人未満	205,000円
5	50人未満	105,000円	10	1000人以上	230,000円

※入会時のみ30,000円の入会金が必要  
(賛助会員、特別会員、個人会員を除く)  
※途中入会の場合は、会費は月割りとなります。  
※詳しくは事務局へお問い合わせください。  
TEL 225-8012



どこか懐かしい「蔵」の  
佇まいを思わせる  
店内にて  
ゆったりとくつろいだ  
ひとときを  
お楽しみください。



鹿児島市中町1-5丸善ビル2F TEL 099-222-9775/FAX 099-222-9776  
お昼ご飯 11:30~15:00 (14:30オーダーストップ) / よるご飯 17:30~24:00 (金・土 26:00まで) 年中無休

